

## 平成 23 年度 坂本・阿木地区女性懇談会 会議録

開催日時	平成 23 年 11 月 21 日（月曜日） 10 時 00 分 ～ 12 時 00 分
開催場所	坂本ふれあい施設 「はなのきセンター」
出席者	市民：坂本地区 16 名 阿木地区 13 名
	行政：大山市長、定住推進部林統括監、坂巻坂本事務所長、秋山阿木事務所長 広報広聴課長、外事務局

■司会・進行者あいさつ（坂本地区 ●●さん）

■開会のことば（坂本地区 ●●さん）

### ■市長あいさつ及び市政報告

- ・女性の視点で活発な意見を頂きたい。
  - ・頂いた意見については言いつぱなし、聞きつぱなしにせず、できないことはできない理由を示す。
  - ・本日答えられない意見は持ち帰っていつごろまでに結論をだすのか示します。
  - ・財政については、①借金は返す以上に新たな借入れをしない、②国、県など有利なものを利用する、③利率の高いものから返す、④人件費削減に努める、⑤合併特例債などひきだせるもの使う、などの 5 つの方針で行っている。
  - ・人件費は 6 年間で 220 人の削減で 16 億に相当する。
  - ・削減した 16 億の半分を主に子どもさんの医療費無料化、インフルエンザの補助を中学生まで拡充して新しいサービスへ充当した
  - ・合併時の借金は 1,107 億円あったものを平成 22 年度末までに 193 億円減らすことができました。職員削減率は県下 13 市の内 3 位、借金削減率は県下 2 位となり、スリムな筋肉質な市役所となってきた。
  - ・学校耐震化は 31 校ある中で進めてきて、残すところ第 1 中学校の校舎と加子母中学校の体育館で終了する。30 億円以上の事業であります。
  - ・光ファイバー網は 1 億円で耐震化とあわせて 31 億の事業であり、仕事をやりながら借金は減らすことに努めてきた。
  - ・医療については中学生までの無料化、医師確保、検診料補助などで約 6 億
  - ・病院経営は非常に難しくなっているがしっかりと支えていきます。
  - ・医師確保は市民病院で 44 名、坂下病院 14 名を合わせ 58 名の確保、東濃地区では 1 番であります。
  - ・新しい取り組みとして、保険と医療と介護を併せて行う地域総合医療センターを開設した。名古屋大学の総合診療部から総合医の派遣してもらっている。年間 3 千万、医師 4 名の派遣が目標である。
- 市民病院の窓口的な機能で開業医から紹介されてくる患者の受け口として、市民病院の各専門の科に振り分けていただき機能を果たしていく。
- ・診療所のレベルを上げることに力も注いでいき、保健師と連携をとりながら健康を長く保つことに努めていきます。

■出席者自己紹介

■要望等の進捗状況報告（資料配布のみ）

■阿木地区トピックス報告（資料配布のみ）

■懇談会（司会進行：坂本地区 ●●さん）

- ・具体的なテーマは絞らず、フリートーク形式。
- ・普段の生活の中で、女性の立場から思っている事、感じている事を自由に発言して下さい。

■懇談内容

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
(坂本) ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂本は学童保育所が2つある。</li> <li>・身体障がいや発達障がいの子どもさんを預かった場合に他の子どもさんと一緒に普通に见れるかどうか困難である。国は一人につき年間152万円加算してくれる。</li> <li>・加算のお金で、一人指導員を増やすことができる。民設民営なので、保護者が運営している。保護者が指導員の給与を払っている。</li> <li>・県、市は4人以上入所しないと152万円出ない。一人入って指導員が一人つく場合、一人分の給料をだすことが出来ない。子ども達が普通に他の子と一緒に生活ができるように。市はスライド制なので、国の基準に戻してほしい。</li> </ul>	市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいを持つ子どもさん、そうでない子どもさんもノーマライゼーションの考え方の質問で、それに加算をしていくという要望、公約の中に「安心できる暖かい福祉のまちを作る」。障がいを持った人達の育つ、学ぶ働くを大事にする基本的な考え方をあげている。力をいれさせていただいている分野である。</li> <li>・支援をするということが大切である。必要性は理解している。前向きに対応させていただくべき案件である。</li> <li>・どの程度の形でどうしていくか検討の中身になっていくのか、この場では即答できない。</li> <li>・必要性は十分理解できるが、本当に助けを必要とする人に必要とする場合において助けが届くようにその助けは、税金の助けとなる。</li> </ul>

<p>(阿木) ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化工事で戸の修繕もしていただいて安全になった</li> <li>・阿木小学校、中学校の設備環境を整備してほしい。</li> <li>・中学校調理室の不備、小学校の水道、ガスなどの容量不足。</li> <li>・小学校の進入路の拡張。</li> <li>・災害時の避難所対象につき上記の設備の整備をお願いします。</li> </ul>	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校で同様な要望事項であると考え</li> <li>・設備、備品をどんなレベルまでそろえるかという問題がある</li> <li>・合併前は7町村ごとに整備してきたので違いがある。</li> <li>・進んでいる学校、そうでない学校についてメリハリつけてレベルを揃える方向で考えたい。</li> <li>・教育委員会に維持修繕費として交付して担当課で対応するよう姿勢を見直していればと考えている。</li> </ul>
<p>(坂本) ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21世紀を健康で長生きしようという目標で①メタボの予防②薄味習慣の定着③ウォーキングなど運動習慣の定着、生活習慣病予防、子どもから大人まで各世代に合った食育の推進を家庭で実践すると共に友人、知人、地域の方に普及、推進をしていくという目的を持って活動している。最近、心配していることは、高齢の独居男性は食事作りが出来ない、調理済食材を買ってばかり食べる。生活習慣病の予備軍が多い。バランスの取れた食事を選択できる力、食育が必要である。</li> <li>・透析患者が多く一人年間500万かかるのでしょうか？</li> <li>・健康を維持していくためにも又予防医学の観点からも調理実習的な研修の開催を提案したい。健康長寿を目指す中津川市にしていきたい。</li> </ul>	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善でメタボは人ごとでない。</li> <li>・高齢化していく中、整備して解決していく社会の仕組みにしていく必要がある。</li> <li>・自分で作るのは大変、配食サービスを発展させていくのか、選択性で、配食サービスをして欲しいひとの一人用のセットで、量は多くないが、種類の多い揃えた野菜セットを呼びかけていくのもあるかと思います。</li> <li>・保健を進めて医療とか治療をできるだけ落とす健康作りに力を入れていく。地域総合医療センターの考え方で保健に力を入れていく。保健、医療、介護の連携の部分で保健の部分をしっかり組み立てる中、保健師の活躍と市民の皆さんの活動としての部分とを上手にやっていきたい。</li> <li>・市民活動で組み立てが出来るように食生活の皆さん、健康推進員の皆さんと一緒に、グループ活動として出来るようにしたい。市としても応援をしていく。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民・高齢者で、公民館へ行く足がないのでコミュニティバスを常設してほしい。</li> <li>・公民館の2階へ行く階段の段差がきつくて大変である。</li> <li>・公民館の調理室、研修室が老朽化しているので、改修をお願いしたい。</li> </ul>	市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安い料金で利用できるような福祉バスをしっかりとやります」と1期目の公約の中に入れている。</li> <li>・コミュニティバスをやって、なおかつ互助交通という形でボランティア的に運転をしていただく人に参加した形で組み立てをしようとしている。安い形で組み立てると事業者の人達の職を奪うこともあるので、話し合いながら、サービス、料金を追及しながら、良い形を追求していく。むつかしい分野である。</li> <li>・高校生が、交通弱者になっている。恵北バス通学の助成を行なっている。高校生対策も必要である。粘り強く取り組んでいくので、取組みに参加していただきたい。</li> </ul>
(阿木) ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種が個別接種となりましたが市内の医療機関の利用しかできませんので恵那市まで拡大して下さい。</li> <li>・阿木診療所では子どもの人数分の薬がなく予約もできない状況です。薬の確保をお願いします。</li> </ul>	市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川と恵那市が恵那医師会の組織の中に加わっているのでこれについてはあたってみます。</li> <li>・薬の確保については早急の事です。品薄状態と聞いてはいるがまわっていくよう働きかけをしていきます。</li> </ul>
(坂本) ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂本は東西には、バスが走っているが、南北は、交通手段がないので、不自由をしている。</li> <li>・買い物難民などと言われているが、病院に行かなければならないが、近所の人にらせてもらおうと事故を心配して断られてしまった。</li> <li>・コミュニティバスを1日2, 3回まわして欲しい。</li> </ul>	市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西はバスがあるが南北はないというのはおっしゃるとおり、坂本は中山道もあるがバス、鉄道も東西にある。南北はこれからリニア時代もあり、大きなテーマ（他地域との交流も）道路整備も南北方向を意識した整備が必要。</li> <li>・新しい要素があるので今から準備の必要がある</li> <li>・今の交通のなかでサービスを確保していくために、コミュニティバス、互助交通も取り組みたい。リニア時代を見通して今の課題にも取り組んでいきたい</li> </ul>

<p>(阿木) ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内保育園は自園給食で現場と子どものつながりがあり家庭的であります。今の状況を維持して、今後も充実した給食を子どもに提供して下さい。</li> </ul>	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの骨格をつくっていくなど大事なことを考える。</li> <li>・子どもの食欲を増す為の研究も必要である。</li> <li>・園全体が同じ給食ばかりでなく地域独自の献立も地産地消、地元の食材を活用して頂く事も必要である。</li> <li>・子どもの食育も地産地消とあわせて大切なことを考える。</li> </ul>
<p>(坂本) ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この「坂本はなのきセンター」も1年半前に指定管理になった。</li> <li>・何で指定管理にするのか。子どもたちが育つ場所なので、市にしっかり見ていただきたい。管理の面でも。</li> </ul>	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい試みでやっている。より良いサービスをやってもらえるよう、いろいろな声が聞こえてくるので、よい意見を伝えようと思う。</li> <li>・子ども達が育つ場所として、コストもあるが、しっかり出来ているかよく見てほしい。</li> <li>・指定管理制度の中で、よりよいサービスをして行きたい。全体的に評価をするようにやっていきたいと思う。</li> </ul>

<p>(坂本) ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂本事務所の方はすぐ来て対応してくださりありがたい。中津貨物が移転してきて交通量増え、大型車が頻繁に来るので側溝に蓋をしてもらい少しはいいが、通学路としてもう少し安全にして欲しい。</li> <li>・塩尻の図書館に行ったが街中であっていいところだった。</li> <li>・年寄りも行くところがない。</li> <li>・新聞が多くあって年代別であって良かった。待っているんで図書館は市民の声を聞いて十分内容を検討して建てて欲しい。</li>   <li>・リニアについて新聞情報や噂話、残土はどうするのか、電磁波の影響はがんの危険性はなど不安が渦巻いている。</li> <li>アセスの縦覧など資料が膨大で、一般の者にはわからない、わかりやすいことばで情報を早く市民に伝えて欲しい。不安の内容に早く開示して答えてほしい。</li> </ul>	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂本地区、農道の歩道も以前から話がある、リニアの時代を考えて計画の立案と事業の実施をしたい。</li> <li>・用地買収など地元の協力いただきながら交通安全の観点で集中的に取り組んでいく。</li>   <li>・図書館、新聞コーナーやいろんな年代の方に利用していただけるように考えている。</li> <li>・新図書館は空間利用の仕方も変化進化させる仕組み、考え方を持っている、作ってそのままではなく、市民とともに作る図書館を考えている。</li> <li>・各地区の公民館図書室も充実していく(新図書館を拠点に、そこに行かなくても活用できる)。</li> <li>地域事務所の近くで図書室を展開していく(加子母事務所で検討中)。配本サービスなども始めている。地域で議論していただきたい。</li> <li>・地域の図書室も充実、郷土資料の収集も。阿木事務所の改築も図書室をにらんで考えていく必要がある。</li> <li>・環境アセスで電磁波について環境省が厳しい目でチェックする(国土交通省専門員会でも山梨実験線でも大丈夫とされているが)。</li> <li>・情報の開示などは体制と実施内容を組み立てたい。区長さん方とも相談していく。</li> </ul>
----------------------	---	-----------	---

<p>(坂本) ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在民家を借りて学童をしている。昨年、学童保育所の前の道を申し合わせで一方通行にしてもらった。地域の見守り、協力で運営できている。</li> <li>・学童保育所に手すりとか備品も必要、また、県は金が無いので一人70何万とかしかくれない。障がい児が健常児と一緒に生活できるように加算をお願いしたい。</li> <li>・小学校の振替休日とかは、ほとんど月曜日が休みとなる。科学館とか博物館は、月曜日が休館日なので考えていただきたい。</li> </ul>	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢野さんの時に検討させてもらおうと答えた。この問題は狭く深くの考え。ノーマライゼーションの考えで社会の中で共に生きるという意味でもしっかり検討します。</li> <li>・1期目の公約の中に「利用者に合わせたサービスの提供をします」ということで、やらせていただいている。月曜日が休館日について、利用者に合わせたサービスとして市民課の窓口延長もその考えに沿ってやっている。どういう形でお断りしているか確認を含めて、振り返って検討させていただきたい。市民が利用しやすい形で施設のサービス時間を決めていくという基本的な考え方は持っている。</li> </ul>
----------------------	---	-----------	---

### ■市長総括

- ・熱心に意見、要望をありがとうございました。
- ・頂いた意見は「言いつばなし、聞きつばなし」にせず、しっかりフォローして報告します。
- ・各々の事務所の対応を即断、即決の体制に拡充し、その為の予算をつけ所長の判断で行ってもらう地域分権的な行政を組み立てていきたい。
- ・ありのままに解りやすい広報に努めます。
- ・所長は地域の現場にいるので、常に声を寄せて頂きやりとりをして的確な判断で行ってほしいと考えています。

### ■閉会のことば（阿木地区 ●●さん）

- ・本日はご意見をありがとうございました。発言して頂いた意見を市政に反映していただく事を願ひまして閉会の言葉と致します。